

第23回

金沢がん哲学外来

～北陸三県のがん哲学外来連携特別企画～

「これからのがん哲学外来 ～医療の隙間を埋めるものは何か～」

2人に1人ががんにかかり、がんと共に生きながら生きるこの時代に、私たちは「死」を通して「生」を考えなくてはなりません。しかし医療現場では、この視点が抜けており、医療の大きな隙間とされています。「がん哲学外来」は医療の隙間を埋めるものとして評価され、全国各地で展開されています。今回、富山県、石川県、福井県の「がん哲学外来」のメンバーが集い、医療の隙間を埋めるものは何かについて掘り下げたいと思っております。

日時 2016年11月20日(日)
13:00～16:00

会場 金沢大学医薬保健学域保健学類
4号館1階 4111講義室

会費 無料 (事前申し込みは不要)

※外来相談は予約となっています。
申込先:k.gantetsu@gmail.com(金沢がん哲学外来事務局)



第22回金沢がん哲学外来

第1部

シンポジウム

これからのがん哲学外来 ～医療の隙間を埋めるものは何か～

13:00～15:00

Program

■ 挨拶

■ 患者支援活動からの報告

■ 北陸三県のがん哲学外来からの報告

■ 全体討議

司会進行 宗本 義則 (福井県済生会病院 外科主任部長)

西村 元一 (金沢赤十字病院 副院長)

和田 真由美 (萌の会 代表)

車屋 知美 (福井県済生会病院 臨床心理士主任)

竹川 茂 (富山県立中央病院 緩和ケアセンター緩和ケア科部長)

山田 圭輔 (金沢大学附属病院 麻酔科蘇生科准教授)

第2部

メディカルカフェ い〜じい

お茶を飲みながら、ホッと一息つきませんか?

ハーモニカ演奏会 オヤジバンドF&6

「心と身体に癒しのひとときを」



外来相談

担当者 竹川 茂 医師 山田圭輔 医師

※外来相談をご希望の方は事前にご連絡ください。

主催：金沢がん哲学外来、金沢大学附属病院緩和ケアセンター

共催：金沢赤十字病院、NPO 法人がんとむきあう会

後援：一般社団法人がん哲学外来、北國新聞社、テレビ金沢、富山新聞社

協力：赤い靴ひもの会、石川よろこびの会、患者会クロスピンク、Gnet 金沢の会(GIST患者と家族の会)、萌の会、(株)スヴェンソン金沢サロン

Access Map



交通アクセス(北陸鉄道バス)

- 金沢駅兼六園口(東口)7番乗り場から
「東部車庫」「金沢学院高校」「金沢学院大学」「北陸大学」
「湯涌温泉」行き
 - 金沢駅兼六園口(東口)6番乗り場から
「湯谷原」「医王山」「田上(金商経由)」行き
 - 金沢駅金沢港口(西口)5番乗り場から
「東部車庫」「金沢学院大学」「金沢学院高校」行き
- 上記のいずれかに乗車し、小立野下車【約20分】▶徒歩【約5分】

金沢大学医薬保健学域保健学類

講演会会場

4号館 1階 4111 講義室

カフェ会場

4号館 2階 会議室

